

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
上下水道部	道岡 武郎	63-4114 (経営総務室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等

1. 施策の基本方針 Plan

- ・ 名張市下水道整備マスタープランに基づき、公共下水道を計画的に整備します。
- ・ 市域の下水処理施設の将来的な管理運営の方法や体制について検討します。
- ・ 農業集落排水処理施設の整備を計画的に推進するとともに、小型合併浄化槽の普及促進と適正な維持管理に取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 中央処理区第2期事業認可区域766haに位置する名張地区市街地、住宅団地等に係る公共下水道の整備推進、及び南部処理区の公共管理を図ります。
- ・ 平成28年度の事業完了を目指し、比奈知地区農業集落排水処理施設の整備を図ります。

目標達成に向けた課題 Plan

- ・ 公共下水道事業については、名張地区市街地の地域実情に配慮した施工並びに住宅団地の汚水処理施設所有者との接合意形成に時間を要することのほか、社会資本整備総合交付金事業に係る国、交付金の縮減等踏まえると、中央処理区第2期事業区域の766haについては、平成25年度の完成予定が、概ね平成30年度になる見込みであり事業延伸が必要となります。
- ・ 南部処理区に位置づけている住宅団地の大型合併浄化槽等については、移管方針に基づき公共管理のあり方を明確にし、施設管理者、地域住民の合意形成を図っていく必要があります。
- ・ 比奈知地区農業集落排水事業は、平成23年度より事業着手をしましたが、国、補助金が削減され事業推進が懸念される。

< 行政評価委員会からの意見 >
意見なし

施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値	2009	2010	2011	2012	2015	進捗率
		(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H27)	
汚水衛生処理率 (%)	目標	-	-	-	-	93.0	96.0	
	成果	91.5	92.5	92.4	92.7	94.5		67%
公共下水道を利用できる市民の割合 (人口普及率) (%)	目標	-	-	-	-	26.0	33.0	
	成果	15.9	16.2	16.6	16.9	18.3		14%
公共下水道に接続している人口 (人)	目標	-	-	-	-	21,250	26,860	
	成果	11,344	11,778	12,466	12,920	14,366		19%
農業集落排水施設を利用できる市民の割合 (人口普及率) (%)	目標	-	-	-	-	11.0	12.0	
	成果	8.9	9.3	9.1	9.0	9.4		16%
農業集落排水施設に接続している人口 (人)	目標	-	-	-	-	8,230	9,500	
	成果	6,539	6,856	6,781	6,786	7,291		25%
BOD値 シャックリ川町田橋 (年平均) (mg/l)	目標	-	-	-	-	2.7	2.5	
	成果	3.0	2.3	1.9	1.9	5.8		0%
生活排水を適切に処理する環境が整備されていると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	76.0	
	成果	-	-	-	72.6	74.6		H25取組分より評価対象

3. 取組内容

課題解決への取組内容 **D o**

・公共下水道事業については、名張地区市街地の面整備（松崎町、豊後町外）、住宅団地（野村桔梗が丘住宅地）の接続移管、また経年劣化が進む桔梗が丘住宅団地の老朽管に対して、長寿命化対策を含めた改築更新事業に取り組みました。また、第2期事業の事業延伸に係る基礎調査による計画フレームの設定等、基本事項の取り纏めを行いました。
 ・南部処理区については、移管方針の策定、並びに整備手法について、関係機関との協議を行いました。
 ・比奈知地区農業集落排水事業については、平成23年度策定の基本計画に基づき、実施設計並びに地域住民説明会、関係機関への協議を行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
 意見なし

地域等との連携、協働に向けた取組 **D o**

該当なし

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 9 事業)

D o **C h e c k**

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています。)	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
		2011 (H23)	2012 (H24)	事務事業の 施策への 貢献	地域づくり 組織等との 連携・協働	事務事業 シートでの 今後の 方向	施策 達成 への 貢献度	施策 達成 への 重要度
3040	浄化槽設置費等補助金 営業室	3,000	2,400	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3085	水洗便所等改造工事補助金 (個人設置型) 営業室	0	0	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3086	水洗便所等改造資金融資利子補給 (個人設置型) 営業室	0	0	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5009	百々生活排水処理施設管理費 下水道維持室	5,739	3,050	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5027	河川維持費 下水道維持室	697	476	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5033	小波田川流域排水管路管理費 下水道維持室	218	187	B	該当しない	継続(現行)	B	B
6074	浄化槽関係経費 営業室	1,904	46	-	該当しない	継続(現行)	-	-
7005	農業集落排水事業特別会計 経営総務室	583,032	465,752	A	該当しない	継続(現行)	A	A
7008	公共下水道事業特別会計 経営総務室	1,014,529	1,069,413	A	該当しない	継続(現行)	A	A
合計(単位：千円)		1,609,119	1,541,324					
小計(うち、一般会計分)		11,558	6,159					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)		1,597,561	1,535,165					

5. 部局による施策評価

C h e c k

評価
 事業推進の一部改善
 成果・評価理由
 公共下水道については、11月に名張地区市街地の中町等を供用開始し、年度末には、桔梗が丘西6番町の住宅団地汚水処理施設を移管接続したほか、桔梗が丘住宅団地の老朽管に対して、長寿命化対策を含めた改築更新事業を実施しました。また、南部処理区の住宅団地汚水処理施設の公共管理の移管方針を策定し準備を進めました。
 国庫補助金が大幅にカットされる中、事業を効率的に進めてきましたが、施策指標の2項目で目標を下回っており、国への補助金確保の働きかけをしつつ、翌年度に繰越す事業を減らす等、なおいっそう効率的に事業を進める必要があります。
 また、農業集落排水事業については、赤目南部地区の整備が完了し平成24年4月に供用を開始し、比奈知地区の路線測量業務委託、管路施設及び汚水処理施設の実施設計を実施しました。しかしながら、公共下水道以上に県補助金が大幅にカットされる中、事業を進めてきましたが、施策指標の2項目で目標を下回っており、公共下水道同様補助金確保の働きかけをしつつ、翌年度に繰越す事業を減らす等、なおいっそう効率的に事業を進める必要があります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

A c t i o n

・公共下水道事業については、国庫補助のカットや補助確定後の工事発注となるため、翌年度に繰越す事業を余儀なくされる事業もあり進捗は容易ではありませんが、今後も引き続き整備計画に基づいて推進していきます。また、第2期事業変更認可の事業延伸、全体計画を見直し現実に即した実現性のある事業を進めます。
 ・農業集落排水事業については、地域自主戦略交付金を活用していく中で、比奈知整備事業完了の目標に向けて、三重県の指導を得ながら事業を実施していきます。また、接続率を高めるために市民への啓発を進めます。
 ・水洗便所補助金等を継続し、水洗化を促進することにより市民の生活環境の改善や公衆衛生の向上を図ります。

7. 総合評価

評価
 B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
 評価理由及びその他(意見)